



例題2から実際に進めてみましょう。1. Kg8 Qd8+ 2. Kg7 Qg5+ 3. Kf7 Qh6 4. Kg8 Qg6+ 5. Kh8 これまでなら、ここでキングを近づけましたが、5... Kd2 ではステール・メイトです。しかも他に勝ちとなる手段はありません。同じ手の繰り返しはドローになるからです。さらに7段目のビショップ・ポーンにもドロー・チャンスがあります。そこで格言。

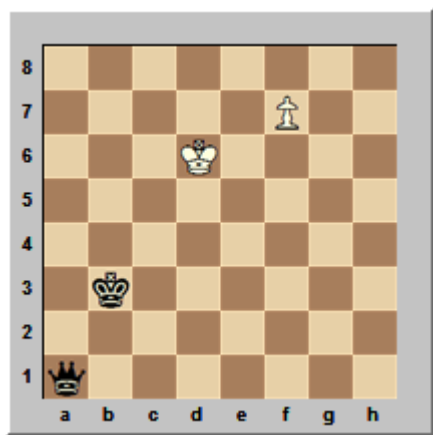
『Q対7段目PはR PとB Pにドローあり』

♘ ♙ ♚ ♛ ♜ ♝ ♞ ♟ ♠ ♡ ♢ ♣ ♤ ♥ ♦ ♧ ♨ ♩ ♪ ♫ ♬ ♭ ♮ ♯ ♷ ♸ ♹ ♺ ♻

クイーン対ビショップ・ポーン

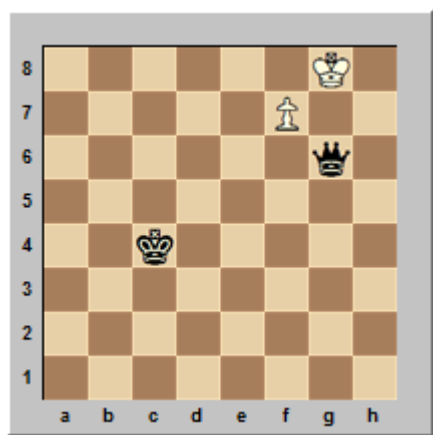
♘ ♙ ♚ ♛ ♜ ♝ ♞ ♟ ♠ ♡ ♢ ♣ ♤ ♥ ♦ ♧ ♨ ♩ ♪ ♫ ♬ ♭ ♮ ♯ ♷ ♸ ♹ ♺ ♻

例題3 白番 (白は上に進みます)

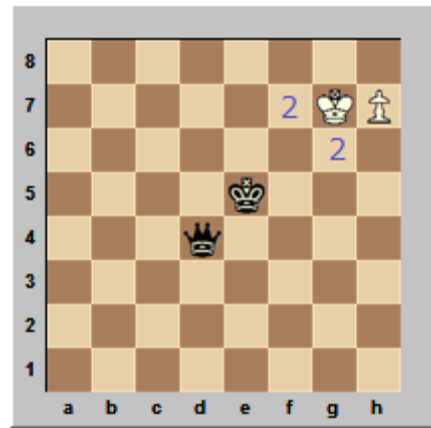


例題3から 1. Ke7 (1. f8Q?? Qa3+) Qe5+ 2. Kd7 Qf6 3. Ke8 Qe6+ 4. Kf8 Kc4 5. Kg7! 白キングはショート・サイド(コーナー近く)へ移動させます。5... Qe7 6. Kg8 Qg5+7. Kh8 Qf6+ 8. Kg8 Qg6+ 白の決め手を当ててみましょう。

問題1 黒番 (白は上に進みます)

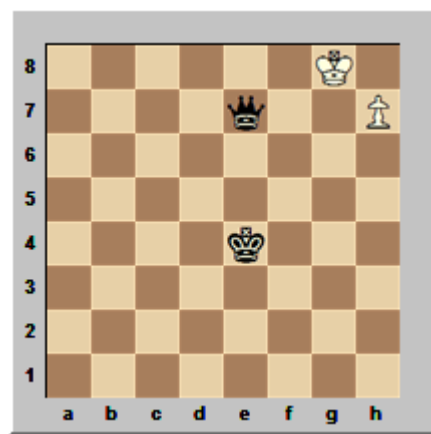


例題4 黒番 (白は上に進みます)



格言は正しいですが、チェスはそう単純ではありません。例題4のように黒キングがf7またはg6から2歩以内であれば黒勝ちです。例題4から、1... Qd7+ 2. Kg6 Qe6+3. Kg7 Qe7+ 4. Kg8 (4. Kg6 Qf8 黒勝ち) 4... Ke6! h8Q 5. Qf7#。チェスの奥深さがわかる例です。

問題2 黒番 (白は上に進みます)



<問題の解答>

解答1 9. Kh8! Qxf7 でドロー。白キングはコーナー (h8) にいるとステール・メイトになりやすいのです。

解答2 1... Kf5! 2. h8Q Kg6 黒勝ち。白番ですが、何もできないことを確かめましょう。g6から2歩の黒キングが決め手でした。B Pの場合も同様です。調べてみましょう。